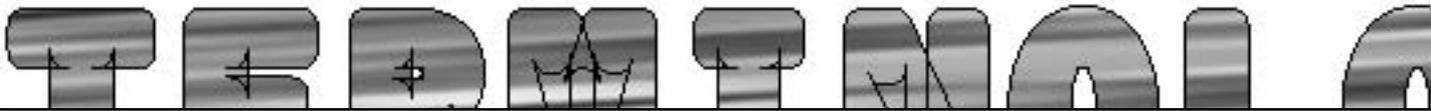


TERMINOLOGY of Internet



EDI【イーディーアイ】

Electronic Data Interchange (電子データ交換) の略。受発注データなど、通常は伝票などに記入する商取引関係の情報を標準的な書式に統一して、電子的に交換する仕組み。アメリカとカナダではANSI X12、それ以外の地域ではEDIFACTが標準の書式として、おもに企業間の取り引きに使用されている。EDI自体は、古く1960年代に開発され、当時はリアルタイムではなくバッチ処理によってデータを交換していた。1980年代に入って電子メールによるEDIが実現し、現在ではインターネットによるエレクトロニックコマースへの応用が検討されている。適用範囲も企業同士の取り引きにとどまらず、業界内あるいは業界間の取り引きへと広がっている。

エレクトロニックコマース(electronic commerce)

電子商取引。文字どおりに解釈すれば商取引全般を電子化することであり、コンピュータの使用もそれに含まれるが、現在ではネットワーク、特にインターネットを利用した商取引を指すことが多い。オンラインショッピング用のホームページやサイバーモール(電子商店街)などもエレクトロニックコマースの一種であると考えられており、取り引きの対象も個人から企業まで広くその範囲に含まれる。商品の受発注から代金の決済まで、取り引きのすべてをインターネット上で行うには、対応したブラウザ、サーバソフトウェア、暗号化などのセキュリティー、電子マネーなどの各技術をセットで提供する必要があり、実現までにはしばらく時間がかかるものと考えられる。

なりすまし(spoof)

システムに侵入するために、許可されたユーザーとして振る舞うこと。本人であることを確認するためには運転免許証などの提示を求めるのが普通であるが、ネットワークではそれが不可能であり、本人認証の手段が限られている。そのため、セキュリティー対策の不十分なシステムでは、IPアドレスとパスワードを入手するだけで容易に本人になりすますことができる。



透明 GIF の画像例。
(「impress」のロゴ部分)

GIF【ジフ】

Graphics Interchange Format(グラフィクス交換形式)の略。アメリカの大手BBSであるCompuServe(コンピュサーブ)が開発した画像ファイル形式。256色で表示し、圧縮もされることから、ファイルのサイズは比較的小さく、ネットワーク上での使用に適している。

GIFの拡張規格であるGIF89では、インターレースGIF(Interlaced GIF)と透明GIF(Transparent GIF)が実現されている。インターレースGIFでは1ドット列おきに画像を表示し、次に最初に飛ばしたドット列を表示して、画像を完成させるため、通常の半分の間で全体像を把握することができる。ブラウザを使用中に、モザイクがかかったようなぼやけた状態の画像が表示された場合、この方式の画像ファイルを読み込んでいく可能性が高い。同様の効果が得られる方式にプログレッシブJPEGがある。透明GIFでは透明色が使え、画像領域と背景色との境目を消し去ることができる。

工事中(under construction)

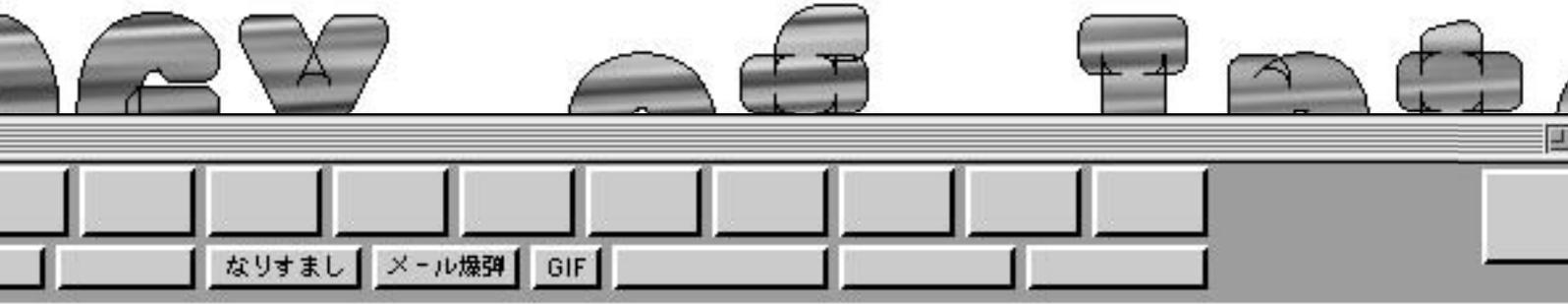
ウェブページの開設を計画していることを知らせるメッセージとしてよく使われる。「準備中」としたほうが表現としては無難であるが、ウェブマスターの意気込みを示して「工事中」にしているものと理解される。



▶ 「工事中」の表示例。

今回で最終回となりますが、引き続き用語に関するご意見やご要望をお待ちしています。

E-mail to : ip-term@impress.co.jp



■ハイパーリンク(hyperlink)

リンクとは、ある要素とある要素を物理的につないだり、論理的に関係付けたりすることであるが、ハイパーリンクとは論理的な関係付けがコンピュータ内やネットワーク上で際限なく連続している状態、あるいはその可能性が実感できる状態を指して言う。WWWサーバーで提供するHTML文書では、リンク情報をURLで記述することにより、仕組みとして次々にほかのウェブリソースを参照することができるため、WWWはハイパーリンクの一例であると言える。テキストにリンク情報を埋め込んでハイパーリンクにしたものをハイパーテキスト、テキストに限らず画像や音声を含めた場合をハイパーメディアという。



ポインターがリンク情報の埋め込まれている場所にくると、矢印から手の形に変わる。

■ウェブマスター(webmaster)

WWWサーバーで提供する情報の統括責任者。WWWサイトのハードウェアやソフトウェアの運用に責任を持つシステム管理者とは異なり、コンテンツに対して責任を負っている。WWWサーバーが新しいメディアとして注目されはじめていることから、雑誌などに見られるように、今後は「発行人、編集人、編集長」といった責任体制の明確化が求められるものと思われる。

■仮想空間(virtual space)

コンピュータによって作り出された人工的な空間のことであり、擬似的体験が可能な空間のこと。サイバースペースとほぼ同じ意味で使用されているが、サイバースペースがネットワークによって実現される情報空間を意識した用語であるのに対し、仮想空間はコンピュータ単体でも実現できる点でかなり異なる。仮想空間自体は虚構であるため、そこでの出来事が現実世界に実在するかどうかは問われないが、模擬実験などに見られるように、空間内での事象が現実世界へフィードバックされることもあり、語義上は日本語の「仮想」ではなく英語の「virtual(実質的な)」として解釈することが望ましい。「サイバースペース」は、ウィリアム・ギブソン(William Gibson)が『ニューロマンサー(Neuromancer)』という小説で造語した言葉。

■メール爆弾(mail-bomb)

悪戯メールの一種で、システムまたは個人を問わず1か所に集中して大量に送り付けられる電子メールのこと。対策をとっていない場合には、システムがダウンすることもある。

■ビューアー(viewer)

一般には画像を表示するプログラムのことであるが、動画や音声を再生するプログラムも含めてビューアーと称している場合がある。ブラウザーも一種のビューアーであると言えなくもないが、ブラウザーは「読む」機能を、ビューアーは「見る」機能を指向していることから区別されている。ブラウザーには、ヘルパーアプリケーションやプラグインとしてビューアーを組み込んでいるが、その逆は見かけないといった違いもある。ビューアー、ビューワなど、表記は一定していない。

■After care

前号で解説したクリックابلマップの英語表記はclickable image mapが正しく、clickable mapは短縮形として使います。

このコーナーは今回で連載を終わります。およそ1年半にわたってインターネット関係の最新用語を解説してきましたが、ほぼ網羅したものと考えています。連載中、多数のご意見をいただきました。誌面を借りてお礼申し上げます。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社**インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp